

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|----------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 外部 3 | 現在運営推進会議は2ヶ月ごとに開催しているが市町村職員や地域包括などの役所関係の参加がないので開かれたホームを目指し、地域でグループホームを考えていくには参加を呼びかけていかなければならない。 | 市町村職員や地域包括の関係者が会議に参加する。 | 区役所や地域包括へ足を運び、運営推進会議の意義や目的を説明し、参加をしてもらえるように話す。また参加してもらったら、グループホームや地域のつながりについてアドバイスをもらったり、協力体制をお願いする。 | 2ヶ月 |
| 2 | 自己 21 | 利用者同士が協力して家事などを行っているが参加できずに孤立している利用者もいる。 | 利用者同士が助け合ったり気遣いあったりする環境を作る。 | 孤立してしまう理由を把握する。利用者同士の関係の把握に努め、コミュニケーションの綱渡し役に職員がなれるように臨機応変に状況判断し、共有する。助け合いの雰囲気作りをする。 | 3ヶ月 |
| 3 | 外部 10 | 利用者の状態変化に職員が戸惑うことが多い。ケアプランの見直しは定期と大き状態変化(入院等)のときに行われるため、こまかな変化に対応できていない。 | 本人と家族の意向や希望を確認し、細かな変化にプランが対応し、情報の共有ができる。 | 日頃から、希望等を確認しプランに挙げ、即座に実現できるように利用者や家族に接する。また、状態が変わった場合などを想定してどうしたいのか、把握しておく。意向の変化もありうることを頭において、臨機応変に対応できるようにする。 | 3ヶ月 |
| 4 | 外部 18 | 近隣への買物や散歩は定着しているが、普段行けないような遠出や思い出の場所などに行きたいといわれる方の希望実現が課題となっている。 | 利用者の希望する場所へ家族と共に行く。 | 運営推進会議などを利用して、希望地や協力を募り、利用者の思いを実現させる。 | 3ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。